

八万南小学校 「学力実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学ぶ楽しさや分かる喜びを実感させる指導方法の工夫
～主体的に考え、学び合う授業を目指して～

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員 【校長】【教頭】【教務】【研修】
【各学年等】

校長

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識を問う問いかけには、答えることができる児童が多い。 ●児童の学力差が見られる。	①当該学年の、基礎的・基本的な知識・技能を概ね身に付けている。 ②個々の学力に応じた課題に取り組むことができる。	・週3回のモジュールの時間を活用し、発達段階や個別の課題に応じた反復学習やミニテスト、読書の時間を確保する。 ・タブレット端末を活用し、個々の特性やつまづきを把握し、個に応じた目標の設定や指導方法の工夫を学習中に行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の思いや考えを表現できるようになってきている。 ●身に付けた知識や技能を他の学習や生活の場面で活用することが難しい。	①目的や課題に応じて、根拠や理由を明らかにしながら自分の意見を出し合い、深め合うことができる。 ②身に付けた知識・技能を他の学習や生活の場面で活用することができる。	・ペアやグループ及び全体といった学習過程を工夫する。 ・思考ツール等を活用し、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを整理・明確化する時間を設ける。 ・学習の系統性を意識し、問題解決に向けて知識・技能を活用して考える時間を設ける。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習規律を守り、与えられた課題に真面目に取り組むことができる。 ●自らの学習課題を把握し、解決できるように取り組むことは十分ではない。	①学ぶ楽しさやわかる喜びを感じ主体的に学習に取り組むことができる。	・毎時間の学習課題の解決に対する見通しをもたせる。また、学習の最後には振り返りの機会も設ける。 ・ゲストティーチャー等を活用し、教科書の中だけではなく社会や実生活のつながりを感じられるようにする。			

令和8年度 学力向上ロードマップ

